

大竹進さんへの応援メッセージ

東京・広瀬隆

1984年に青森県への再処理工場建設計画が打ち出されてからもう30年以上の歳月がたちました。この長い日々、みなさまと共に、核燃料サイクルの危険性を食い止めるために活動してきましたが、ついに4年前のフクシマ原発事故によって、原子力産業がいかにデタラメの作業に明け暮れてきたかという事実が、白日のもとにさらされました。

私個人が最も心を痛めてきたのは、人体に対する放射能の長期的な、そして深刻な影響です。現在の東日本全域で進行している病気は、福島県の子供たちに、通常より70倍以上という甲状腺癌が発生して、きわめて深刻な事態を迎えています。

そして大被害にあった福島県民は、自宅を失い、農地を失い、漁場を奪われ、原発関連死者1500人以上という状況に追いこまれながら、ついに今月、賠償打ち切りという最悪の自民党の政策に、うち叩かれています。「死ね！」と言われたも同然です。

今回、青森県知事選に立ちあがってくださった大竹進さんは、これらの問題を、誰よりも深く理解しておられる方です。この問題は、医学を学んだ人だけが知る危険性です。日本政府の過ちに、敢然と立ち向かってください。

もはや、論争する段階をすぎました。癌などの潜伏期を終えようとしている日本では、これからは、凄絶な実害が東日本全域に出てきます。これは医学的に断言できます。

青森県のすべての人が、これまでの支持政党とは関係なく、大竹進さんに投票して、新しい、明るい一歩を踏み出さなければなりません。ご自分の身を守るその行動を、躊躇してはいけません。

そうでなければ、今度は、みなさまの青森県が、福島県と同じように、いえ、それより危険な事態を迎えます。

どうか、一生に一度の正しい選択をなさってください。

2015年5月25日